

3Dスキャン (3次元レーザー計測技術)



HandySCAN



Focus3D

3Dスキャンとは物体を3次元のデジタルデータとして取り込む技術のことです。対象物の表面を3次元の座標データ(X, Y, Z)で取得し、利用目的に応じて様々な計測結果を得ることが可能です。

当社では高精度&高解像度の3Dデータが取得できる『HandySCAN』と、最大130 mの広範囲の計測に対応する『Focus3D』の2機種を所有しており、あらゆる対象物の3次元データを採取することができます。

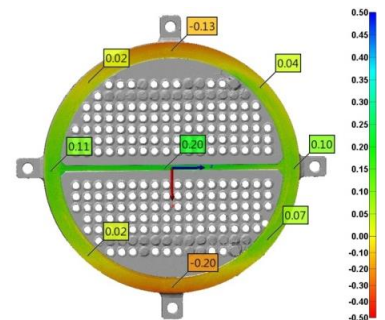
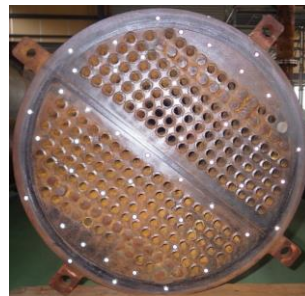
特長

HandySCAN

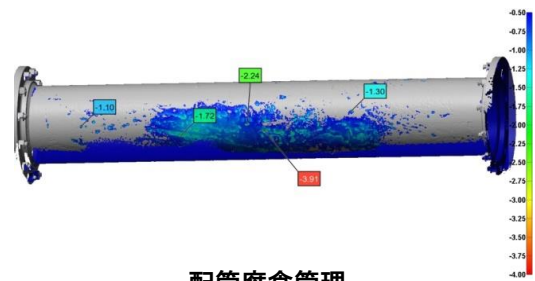
- 近距離スキャンに使用
- 高精度 (最大0.03 mm)
- 高解像度 (最小0.05 mm)
- 容積精度 (0.02 mm+0.06 mm/m)

Focus3D

- 主に中・遠距離スキャンに使用
- 範囲誤差 ±2 mm(10 m~25 m範囲)
- 広範囲のスキャンが可能
(半径 0.6 m~130 m)



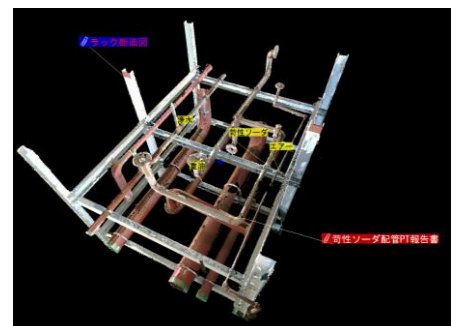
熱交換器 シート面歪み測定



配管腐食管理

適用実績

- シート面歪み測定
- 配管、機器腐食管理
- 回転機摩耗管理
- 機器倒れ、歪み、真円度等の寸法測定
- プラント3Dモデル化
- etc.



3Dモデル化